



Saint-Gobain Life Sciences

お客様各位

米国製タイゴン F-4040-A の製造工場変更のお知らせ 2

拝啓 時下、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、平素は格別のご高配を賜り誠にありがとうございます。さて、先のアナウンス (FLS-ALE-117-CN-520-L4-200-0382 & 960-2022-150) で米国製タイゴン F-4040-A の工場移管をご連絡いたしました。元工場に戻すことになりました。

先のアナウンスのリンク：https://www.saint-gobain.co.jp/index.php/jp/ppl/press/tygon_f-4040-a
詳細は以下の通りです。

現在サンゴバン・ミケルトン工場 (210 Harmony Road, Mickleton, NJ 0856 USA) にて製造しておりますタイゴン F-4040-A チューブにつきまして、サンゴバン・アクロン工場 (2664 Gilchrist Road, Akron, OH 44305 USA) へ製造工場を移管いたします。

変更の理由

タイゴン F-4040-A チューブの需要増加に伴い、製造能力の追加について戦略的な検討を行いました。サンゴバン・アクロン工場は、サンゴバン・ミケルトン工場への製造移管前に使用していた製品ライン、設備、環境、専門知識を保持していました。拠点間の需要のバランスをとり、社内のサプライチェーンを最適化した結果、すべてのサイズのチューブの製造をミケルトン工場からアクロン工場に戻すことになりました。

適用範囲

サンゴバン・ミケルトン工場において製造されているタイゴン F-4040-A 潤滑油・燃料用チューブの全品番 (右表)

対象品番			
AAG00007	AAG00022	AAG00032	AAG00046
AAG00012	AAG00027	AAG00036	AAG00053
AAG00017	AAG00029	AAG00038	AAG00165

適用範囲外

サンゴバン株式会社諏訪工場で生産されているタイゴン F-4040-A

変更されない変更影響度評価

今回の変更に伴い、下記への影響はございません。

- ・ 品質マネジメントシステム (いずれも ISO9001 認証取得済)
- ・ 製造環境
- ・ 原材料
- ・ コンパウンドの製造工程 (アクロン工場から変更なし)
- ・ 製品仕様
- ・ 最終製品の袋・箱の包装材

変更される影響度評価

すべてのプロセスはアクロン工場での状態に復元されます。

以前の製造場所への移管であり、バリデーションは完了し文書化されているため、想定されるリスクは低いものと思われます。なおミケルトン工場は、この変更後も製造能力を維持します。

実施時期

サンゴバン・ミケルトン工場における現在の材料在庫と過去の使用実績に基づき、サンゴバン・アクロン工場への製造移管は 2023 年 7 月と見込んでいます。これは、顧客サービスの観点から前倒したスケジュールです。移管のスケジュールは、検証活動の実行と在庫状況に依存します。移管期間中は、既存の在庫がすべてなくなるまで、アクロンとミケルトンの両拠点で製造された製品をお客様にお届けする可能性があります。

お客様には大変ご迷惑をお掛け致しますが、ご理解とご協力をお願い申し上げます。ご不明な点は、営業担当もしくはカスタマーサービスまでお問い合わせ下さい。

敬具



Saint-Gobain Life Sciences

2023年6月28日

サンゴバン株式会社 機能樹脂事業部 ライフサイエンス

〒391-0106 長野県諏訪郡原村 10801-5

TEL : 050-8882-6342 FAX : 0266-70-1002

Email : ls-japan@saint-gobain.com

【FLS-ALE-179-CN-960-2023-123&520-L4-200-0445】